

「約束された方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。」ヘブル書 10 : 23

主イエス・キリストを信じて罪赦され、神の子とされ恵まれた人生を歩むはずですが、必ずしもそうっていない場合もあります。またみ言葉を受け、祝福を約束されたはずですが、失敗することもあり諦めてしまうこともあります。希望は全知全能全愛の神にあります。望みを神に置いて祈り求めるということは非常に大切なことです。神様は私たちに最善だけを成してくださる愛のお方であることを信じましょう。必ずしも自分の思っている通りにはならない事もありますが、愛の神は私たちにとって最善を導いてくださいます。そしてみ言葉を受けましょう。希望となる言葉を告白しましょう。口に出して言いましょ！不安な時に「恐れるな。私はあなたとともにいる。」病に対して「私は主、あなたをいやす者である。」「求めよ。～」 「主を恐れる者には乏しいことはないからだ。」等々「神のことは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。」ヘブル 4 : 12
日本 26 聖人

今から 421 年前、1597 年 2 月 5 日のことです。時の権力者太閤秀吉により、6 人の外国人神父を含む 26 人の男性が、キリストを信じ人々に宣べ伝えたことにより、長崎の西坂の丘で殺されました。日本で最初に起こったキリスト教の殉教です。この 26 人の殉教のことを日本二十六聖人と言います。

彼らは最初、京都と大阪で捕らえられます。その時 24 人でしたが、西坂の丘まで引いて行かれていく途中で、2 人の付き人も殉教者に加わり、西坂の丘に着いた時には 26 人になっていました。26 人の中には、最年少の 12 歳のルドビゴ茨木はじめ 3 人の少年がいました。

12 歳のルドビゴ茨木を見た処刑の執行責任者であった寺沢半三郎は、彼のいたいけなさに心を痛め何とか助けてやりたいと思い「自分の養子になれば、あと 50 年生きることができる。美味しいものも食べれるし、刀を差して武士にもなれる」とキリスト教を捨てて養子になるように迫りましたが、ルドビゴ少年は「永遠の命を、この世のつかの間の命に取り替えることはできません、あなたの方こそキリストを信じて永遠なるパライスに行きましょう」と毅然として答え、西坂の丘で自分のつく十字架に走りより、その十字架を抱きしめ喜んで殉教していきました。(長崎神のしもべ教会 HP より)

TLCCC 主の十字架クリスチャンセンター The Lord's Cross Christian Center

FRH 天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven
主任牧師: イエス・キリスト ノア勝裕 & 和子



Siloam

2017 年 1 月 14 日 No.980



(シロアム : 遣わされた者 ヨハネ 9 : 7)

新年度の御言葉

マルコによる福音書 11 : 24

イエスは答えて言われた。

「神を信じなさい。まことに、あなたがたに告げます。だれでも、この山に向かって、『動いて、海に入れ。』と言って、心の中で疑わず、ただ、自分の言ったとおりになると信じるなら、そのとおりになります。

だからあなたがたに言うのです。

祈って求めるものは何でも、

すでに受けたと信じなさい。

そうすれば、そのとおりになります。

♪ God is working for my good now , for my good , for my good ,

God is working for my good ,Yes,You really are! ♪

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>